

ちょこツとマーケット

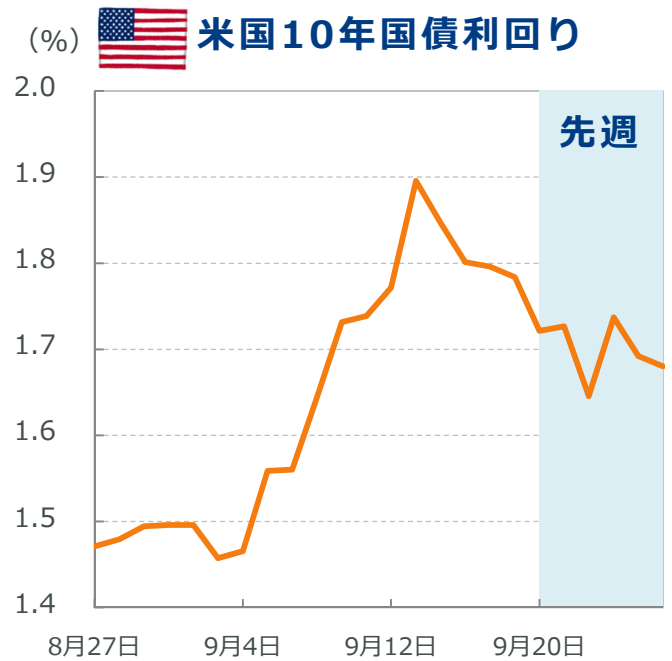
(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2019年9月23日～2019年9月27日】

米国国債利回りはほぼ横ばい

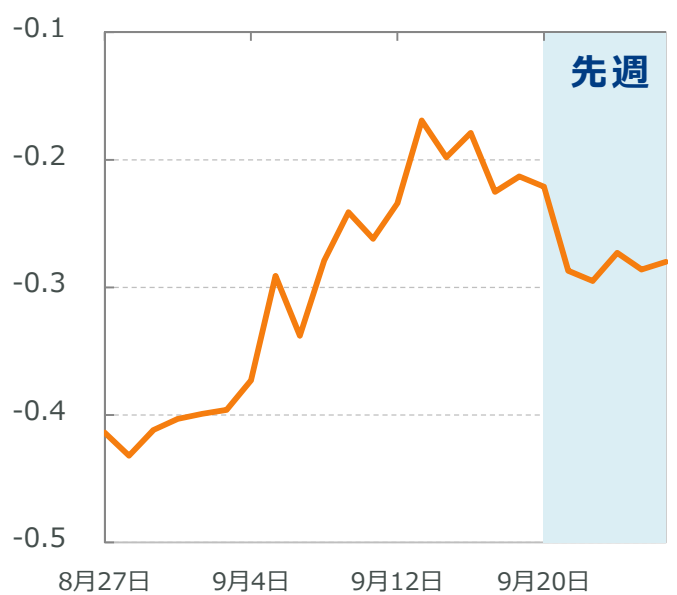
- ◆ 週初はトランプ米大統領の弾劾を巡る警戒から米国国債への逃避買いが進みました。週後半は8月の米住宅関連指標が市場予想を上回ったことなどから米国国債は売られる場面もあり、米国国債利回りは週間でほぼ横ばいでした。
- ◆ 日本国債は日銀がマイナス金利の深掘りに踏み切るとの観測などを背景に買いが進みました（利回りは低下）。



(%)  **日本10年国債利回り**



(%)  **フランス10年国債利回り**



(注) データは2019年8月27日から2019年9月27日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年9月23日～2019年9月27日】

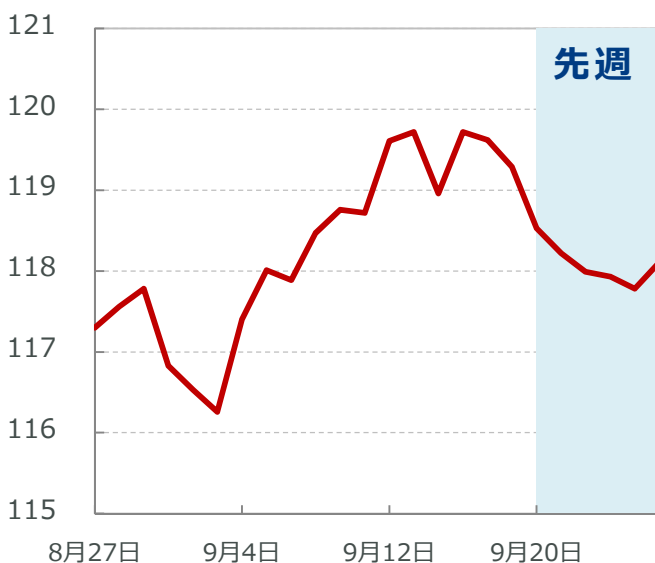
円は対主要通貨でほぼ横ばい

- ◆ 週前半は米中貿易問題を巡る楽観論の後退などから相対的に安全とされる円が対米ドルで買われる動きが見られました。
- ◆ その後中国が米国産豚肉の購入拡大を準備しているとの報道を受けて米中貿易協議に対する進展期待から米ドルが上昇する場面もあったものの、利益確定や輸出企業の米ドル売り・円買いの動きも見られ、米ドル円は週間で横ばいでした。

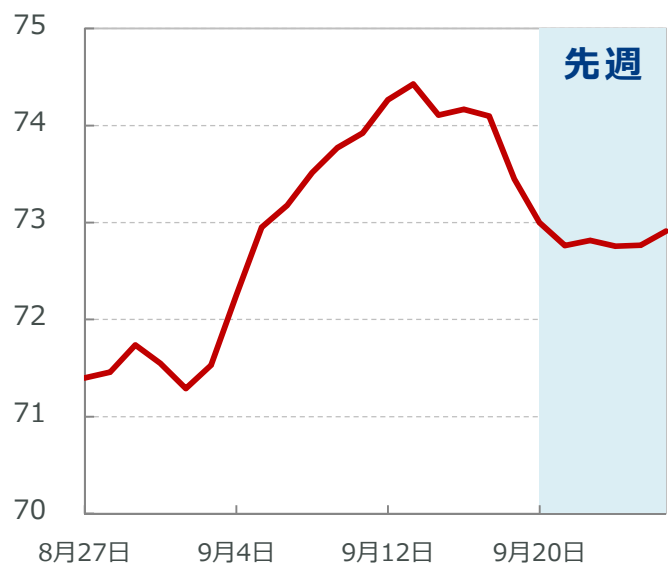
 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年8月27日から2019年9月27日(日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。